

平成 21 年度
事業計画書

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

平成 21 年度事業方針

当年度は、定款で定める各事業を着実に実行するとともに、協会の重要課題プロジェクトである「オリンピックでのメダル獲得」、「ボート人口増大と魅力向上」、について重点的に取り組むことにする。その達成のためには「協会財政の強化」が急務であり、関係各位には特段のご支援とご協力をお願いしたい。加えて、「IT環境の整備・拡充」については、経費削減、意志決定のスピードアップなどを図るため、平行して推進していく。

「全日本選手権大会及び競漕会の開催」については、各種の全日本選手権大会に於ける競技・競争のレベルアップによって大会の活性化を図ることに取り組むとともに、外国クルーの全日本軽量級選手権への参加促進、マスターズレガッタの定着、中学生選手の人口増大と育成などを通じて日本ボート界の全体的な底上げを図りたい。

「国際競漕大会への派遣」については、今年度は 2012 年ロンドンオリンピックに向けて新たな強化体制を取る初年度に当たることから、いくつかの新たな試みを取り入れ、着実に成果を上げるように注力する。まず、指導者として新たな外国人ヘッドコーチをボート先進国ドイツから迎えて指導者層の底上げを図る。また、ナショナルチームと各クラブとの連携を緊密にし、強化の実を上げるために強化指定団体制度を導入する。ナショナルチームの活動を多くの方々から支えてもらうために「Crew JAPAN」の愛称を導入し、新にロゴ・マークを定め、活発な Crew JAPAN プロモーション活動を計画している。このような試みを力に変えて今年度の「国際舞台」にも総力を結集する所存である。

「調査・研究・指導・強化及び普及啓発」については、審判の養成・研修、各種の指導者、インストラクター/アドバイザー養成を着実に実施してゆく。特に、各種の指導者の養成は競技者人口の増大に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の多様化を通じて講習会の参加者増大を図っていききたい。

選手強化事業と競技者育成事業は、この経済環境の厳しい中、選手所属企業・団体からの協力を得て選手強化活動を行い強化の実を挙げていきたい。

また、普及啓発事業として、第 22 回全国マシニング大会を開催し、昨年を超える参加者を集めるとともに、全国的に世代を超えたボート普及活動の柱として開催内容の充実を図っていく。メディカル・ドーピング検査関連では、既存事業に加えて、選手コンディショニング、体力測定を実施して選手の競技力強化に資する情報の提供などにも積極的に関与してゆく。これらに加えて、「競技者資格の決定」、「競漕艇・附属品規格の決定と審査」、ボート競技関連図書の刊行」についても、都道府県協会、競技団体、その他関係者からの要望に迅速に応えるべく情報収集、整理、配布などを鋭意進めていく。

今年度も、当協会が重要課題としている各プロジェクトの推進に協会挙げて取り組み、その結果を広く関係者に提供していく体制を構築したい。「ボート人口増大と魅力向上プロジェクト」については、都市レガッタ開催等と通じてボートの魅力をアピールして関心を高める仕掛け作りを行い、人口増大の一助とする。「財政強化プロジェクト」については、現下の経済・社会状況の下、スポーツには厳しい環境ではあるが、積極的に支援者、賛同者を見いだす努力を行って協会財政の改善・強化を図る方針である。

■平成 21 年度実施事業

当協会は、ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することによりわが国文化の向上に寄与する目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催に関する事業

各種の全日本選手権大会及び競漕会を以下のとおり開催する。

競漕会名	開催期日	開催場所・会場
JAPAN CUP 第 31 回全日本軽量級選手権大会	5/22 (金) ~24 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
JOC ジュニアオリンピックカップ 第 7 回全日本ジュニア選手権大会	6/12 (金) ~14 (日)	熊本県・菊池市斑蛇口湖 ボート場
第 2 回全日本マスターズレガッタ	6/13 (土) ~14 (日)	長野県・下諏訪町漕艇場
第 59 回全日本社会人選手権大会	7/4 (土) ~5 (日)	宮城県・宮城県長沼ボート場
第 29 回全日本中学選手権競漕大会	7/25 (土) ~26 (日)	岐阜県・長良川国際ボートコース
第 57 回全日本高等学校選手権競漕大会	8/1 (土) ~4 (火)	滋賀県・県立琵琶湖漕艇場
第 36 回全日本大学選手権大会	8/20 (木) ~23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 49 回オックスフォード盾レガッタ	8/22 (土) ~23 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 87 回全日本選手権大会	9/10 (木) ~13 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 64 回国民体育大会ボート競技	9/27 (日) ~30 (水)	新潟県・津川漕艇場
第 50 回全日本新人選手権大会	10/16 (金) ~18 (日)	埼玉県・戸田ボートコース
第 21 回全国高等学校選抜大会	3/20 (土) ~22 (月)	静岡県・浜松市天竜ボート場

2. オリンピック大会及びこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルー及び役員を選定し、参加させることに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は以下のような国際競漕大会へ日本代表選手団を派遣する。

競漕大会名	開催期日	開催国・場所
FISA ワールドカップ第 2 戦	6/19 (金) ~21 (日)	ドイツ・ミュンヘン
FISA ワールドカップ第 3 戦	7/10 (金) ~12 (日)	スイス・ルツェルン
FISA U23 世界選手権大会	7/23 (木) ~26 (日)	チェコ・ラシセ
FISA 世界ジュニア選手権大会	8/5 (水) ~8 (土)	フランス・ブリーブラガイヤルド
FISA 世界選手権大会	8/23 (日) ~30 (日)	ポーランド・ポズナン
第 13 回アジア選手権大会	11/5 (木) ~8 (日)	台湾・宜蘭
第 15 回アジアジュニア選手権大会	11/5 (木) ~8 (日)	台湾・宜蘭
第 5 回東アジア競技大会	12/5 (土) ~13 (日)	中国・香港

(2) 国際審判員派遣事業

FISA 及び ARF 主催競漕会で審判業務に従事のため、国際審判員を以下の国際大会へ派遣する。

競漕会名	開催期日	開催国・場所
FISA ワールドカップ第1戦	5/29 (金) ~ 31 (日)	スペイン・バニョーレス
FISA 世界選手権大会	8/23 (日) ~ 30 (日)	ポーランド・ポズナン
FISA 世界マスターズレガッタ	9/3 (木) ~ 6 (日)	オーストリア・ウィーン
第13回アジア選手権大会	11/5 (木) ~ 8 (日)	台湾・宜蘭
第15回アジアジュニア選手権大会	11/5 (木) ~ 8 (日)	台湾・宜蘭
第5回東アジア競技大会	12/5 (土) ~ 13 (日)	中国・香港

(3) 国際関係事業

国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報の把握するため、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・場所
国際漕艇連盟 (FISA) 年次通常総会	8/31 (月)	ポーランド・ポズナン
アジア漕艇連盟 (ARF) 年次通常総会	11/8 (日)	台湾・宜蘭

3. ボート競技に関する諸規則の制定に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

(1) 競漕規則の改定に関する事業

平成 21 年 6 月 1 日施行を目途に、競技者規定を一部改訂する。

(2) コース規格規定に関する事業

認定申請を受けたコースについて調査と認定を行う。

4. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

(1) 審判関係事業

- 1) 審判長、副審判長、審判員を当年度主催・主管大会へ派遣し、大会審判業務を行う。
- 2) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を開催する。

研修会名称	開催日程・場所	参加人数
第70回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5/22 (金) ~ 24 (日) 埼玉県・戸田ボートコース	30名
第71回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	10/16 (金) ~ 18 (日) 埼玉県・戸田ボートコース	40名
審判員講習会 (C級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催	

(2) 指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者養成については、本年度は以下のような事業を行う。

養成指導者名	養成担当	開催日程	開催場所	養成数
コーチ（専門科目）	日本ボート協会	10/30(木)～11/3(月)	埼玉県戸田市	30名
指導員（専門科目）	日本ボート協会	11/20(金)～23(月)	愛媛県松山市	30名
全国指導者講師研修会	日本ボート協会	11/2(日)～3(月)	埼玉県戸田市	20名
アスレティックトレーナー	日本体育協会	7月～22年3月	東京都内	1名
資格更新義務研修	日本ボート協会	4/19(日)	ナショナルトレセン	20名
		5/4(月)	滋賀県大津市	20名
		11月	埼玉県戸田市	30名

(3) 日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下のような養成講習会を開催する。

事業名	開催日程	開催場所	主管団体	養成数
第1回養成講習会	5/17(日)	千葉県小見川町	千葉県ボート協会	30名
第2回養成講習会	6/21(日)	石川県津幡町	石川県ボート協会	30名
第3回養成講習会	6/28(日)	福島県喜多方市	福島県ボート協会	30名
第4回養成講習会	9月	兵庫県加古川市	兵庫県ボート協会	30名
第5回養成講習会	11月	岐阜県川辺町	岐阜県ボート協会	30名

(4) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー養成事業

認定セーフティアドバイザー養成については、本年度は以下の研修会を開催する。なお、本年度から各水域における安全責任者も研修の対象とする。

事業名	開催日程	開催場所	受講者数
第4回研修会	12/6(日)	埼玉県戸田市	30名

(5) セミナー開催事業

セミナー開催については、本年度は以下のセミナーを開催する。

セミナー名	開催日程	開催場所	講師
医学セミナー	4/19(日)	ナショナルトレーニングセンター	Dr. Steinacker (FISA 医科学委員)
コーチセミナー	5/21(木)	埼玉県戸田市	Mr. D. Maxrath (協会ヘッドコーチ)
	11月	埼玉県戸田市	同上
	22年2月	埼玉県戸田市	同上

(6) 選手強化事業

選手強化事業については、本年度は以下のような強化合宿を開催する。

区分	事業名	開催日程	開催場所
シニア U23	4月度強化合宿	4/11(月)～24(金)	埼玉県・戸田ボートコース
	5月度強化合宿	5/7(水)～13(火)	滋賀県・瀬田ボートコース
	6月度強化合宿	6/6(土)～11(木)	埼玉県・戸田ボートコース
	海外強化合宿	6月、7月、8月	スイス、ドイツ
	秋季強化合宿	11月～12月	埼玉県・戸田ボートコース
	冬季強化合宿	22年1月～3月	埼玉県・戸田ボートコース
ジュニア	第1次強化合宿	6/15(日)～19(木)	熊本県・斑蛇口湖ボート場
	第2次強化合宿	22年2月～3月	埼玉県・戸田ボートコース

(7) 競技者育成事業

競技者育成事業については、本年度は以下の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」を実施する。

区分	事業名	開催日程	開催場所
ジュニア	U19 日本代表候補 選手強化合宿	12月中旬	静岡県・浜松市天竜ボート場

(8) 普及啓発事業

1) 全国マシンローイング大会の開催

第22回全国大会を9月～平成22年2月の間、全国9ブロック及び全国10拠点で開催する。参加者3,800名、前年度比5%増を達成目標とする。また、全日本選手権大会の出場予定者には本大会の参加を奨励する。

2) 東京湾レガッタ、スプリントレースの開催

ボート人口増大の一環として、選手、愛好者、参加者、観客が共に楽しみ、ボート競技の魅力を体感できる「ボートイベント」を開催する。大都市中心部でのスプリントレース開催を企画する。

3) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障害者のボート競技振興を図るため、それら関連団体の活動に対して助成金の交付と必要な支援を行う。

(9) メディカルサポート及びドーピング検査事業

1) 戸田で開催する全日本選手権の開催期間、医師を派遣し救急事態に備える。

2) 全日本選手権大会(全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人)に於ける大会内ドーピング検査を日本アンチドーピング機構(JADA)の委託事業として実施する。

3) 日本アンチドーピング機構と連携して、アンチドーピングに関する教育啓発活動として普及・啓発講習会を開催する。

- 4) 選手の体力測定データの収集・分析を継続して実施する。
- 5) ローイングスタイル計測装置の開発と応用に関する事業を実施する。

5. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

(1) 競技者資格の決定

日本ボート協会主催の競漕会に参加する競技者の資格決定を行う。

(2) 競技団体、競技者の登録

平成 21 年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、年度登録状況を把握する。

6. 競漕艇及び附属具の規格の決定と審査に関する事業

(1) 規格艇の審査と登録

新たな登録申請を受けた規格艇について、審査及び登録業務を行う。

(2) 規格艇の検査

第 64 回国民体育大会、第 57 回全国高等学校選手権及び第 21 回全国高等学校選抜大会に於いて、使用競漕艇の検査業務を行う。

(3) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、専門情報の収集と提供を行う。

(4) 新型レクリエーション艇の開発

前年度に開発を決定した新型レクリエーション艇について、平成 22 年度内の完成を目指して開発作業を取り進める。

7. 各種ボート競技に関する図書の刊行に関する事業

(1) 協会広報誌の発行

「月刊ローイング」を定期発行する。読者管理システムを活用して新規購読者の獲得を行う。

(2) 報道機関との連携・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との連携で、当協会の事業活動の広報に努める。ニュースリリース等の発行を通じて、協会事業に関する情報提供を行う。

(3) 指導教材の作成

公認ボートインストラクター養成用テキストの作成を行う。

(4) 協会公式ホームページ

すでにホームページは当協会の事業・活動の連絡、広報などに於いて、最も有効で迅速な手段となっている。これを更に活用して、関係団体・関係者のニーズに応え、コンテンツの充実に努める。

8. その他の目的を達成するため必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、その他の団体と個人に対して、当協会の実施事業の重要性について理解を得るための活動を行い、可能な限りの助成と援助を要請する。さらに、協会の諸事業、募金活動等を通じて自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。

(2) ボート人口増大運動の継続

都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフ創出、イベント企画等を行い長期的な人口増大活動を展開する。

(3) 新公益法人制度移行に関する業務の実施

新制度のもとで協会運営を行うため、定款、事業計画、事業予算の作成、その他移行に必要な準備業務を実施する。